

4. 成人市中肺炎の重症度別患者数等

- ・成人（20歳以上）の市中肺炎につき重症度別患者数、平均在院日数、平均年齢を集計しています。
- ・重症度分類はA-DROPスコアを用い、軽症～超重症の4段階で標記。重症度分類の各因子が一つでも不明な場合は「不明」と分類しています。

◆A-DROPスコアとは

日本呼吸器学会の成人市中肺炎診療ガイドラインに掲載されている肺炎重症度分類の定義。

- ① Age（年齢）男子70歳以上、女性75歳以上
- ② Dehydration（脱水）BUN21mg/dL以上または脱水あり
- ③ RespirationSpO2 ≤ 90%（PaO2 60Torr以下）
- ④ Orientation（意識障害）意識障害あり
- ⑤ Pressure（収縮期血圧）収縮期血圧90mmHg以下

※5点満点で、1項目該当すれば1点、2項目該当すれば2点。

◆重症度分類

軽症：0点の場合。

中等症：1～2点の場合。

重症：3点の場合。ただし、意識障害（ショック）であれば1点でも重症とする。

超重症：4～5点の場合。

不明：重症度分類の各因子が一つでも不明な場合。

○成人市中肺炎

普段の生活の中にかかる肺炎のことです。

	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	12	13.33	57.33
中等症	21	12.10	81.24
重症	80	14.03	80.89
超重症	-	19.83	77.33
不明	0	0.00	0.00

患者数が多いのは重症区分です。

平均年齢が後期高齢者の年齢層になっており、成人市中肺炎は高齢になるほど重症化し、入院日数も長期化しています。